研究構想図

学校教育目標

ふるさとを誇りに思い、たくましく未来を拓く子の育成

	いのち	まなび	えがお
めざす児童像	向上心をもち、運動に親しみ粘り強くチャレンジする子	学びをアウトプットし、共に高め合う子	よりよい学校・学級のために考え、選択・決定し実践する子

【研究主題】

自ら学びを調整しながら学ぶ子の育成

～個別最適な学びと協働的な学びの往還を目指して～

資質・能力育成の育成　　主体的・対話的で深い学び

研究の重点Ⅰ　個別最適な学びと協働的な学びを充実させた授業づくり

自己調整

〈個別最適な学び〉
自分に合った学び方や学ぶ相手を選び、主体的な学びを進める授業づくり
・単元構想シートを用い、見通しをもった「ちょいすご授業」

往還

〈協働的な学び〉
多様な考えに触れるなかで、「わかった！」を実感できる授業づくり
・学び合いカードを用いた話し方の指導
・学習用端末などを用いた学びの広がり

研究の重点Ⅱ　学びや成長を実感する場面の充実
・自己の学びや成長を自覚する視点・場面の設定

学ぶ意欲

達成感・成就感

研究の重点Ⅲ　学びの基盤づくり

1. 学力を支える取組
・しろやまタイムの活用
・・・今江検定
・朝自習の時間の活用

2. 家庭学習の充実・自学の質の向上
・自学交流会
・校長グランプリ
・高学年からの「けテぶれ」

互いを認め合い共感的な人間関係の学級づくり
・エンカウンター
・対話力を高めるトレーニング

主体性の素地づくり
・教師と児童の信頼と安心の関係づくり
・たて割り活動　　・学校行事等への取り組み
→褒めて伸ばす指導の充実

生徒指導部の取組